

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 法人理念『～ひたむきに「児童福祉」「障がい福祉」の充実を追い求め、彼らの暮らしと生命、そして権利を守ることを私たちの使命として、地域福祉に貢献します～』が明文化されている。それを踏まえて、園の基本方針が明文化されている。職員には理念・基本方針について、職員会議等で説明を行っている。また、利用者・家族等に向けた周知については、ホームページ、パンフレットへの掲載や施設内掲示を行い、契約時や懇談会等の機会を捉えて、説明を行っている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 障害福祉動向については、法人の施設事業部会の中で、圏域内市町村から情報収集するとともに、や各種研修の参加を通じて、情報共有に努めている。地域の福祉ニーズについても、地域の関係機関・団体との情報交流や日常的な地域活動等を通して把握に努めている。また、利用者状況の動向や施設の経営状況を分析し、持続可能な経営管理に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
③	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 把握した福祉動向、地域のニーズ、利用者状況の動向や施設の財務・経営状況を分析し、具体的な経営課題を明らかにし、課題改善に向けた取り組みを行っている。		
改善できる点／改善方法：		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 法人の中・長期計画として、5カ年計画を策定し、中・長期ビジョンを明確にしている。計画は、施設運営全般に渡る具体的な内容になっている。		
改善できる点／改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 中・長期計画を踏まえて、各年度単位に位置付けた事業計画を策定している。事業計画は、施設の基本方針を示し、実行可能な予算が伴う計画となっている。		
改善できる点／改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 事業計画は、それぞれの部署から職員の意見をくみ上げ、運営委員会等の各種会議での話し合いを通じて策定をしており、組織的な取り組み体制ができている。また、職員会議等での説明を通して職員への周知を図っている。		
改善できる点／改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 利用者等への周知については、年4回程度、利用者懇談会を開催し、その中で、計画の要旨を説明するとともに、資料配布も行っている。また、ホームページで事業報告や財務諸表等を掲載している。		
改善できる点／改善方法：		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		

8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 各種委員会、各ユニット会議、運営委員会等での話し合いを通じて、サービスの質の向上に向けた取り組みを行っている。また、今年度は岐阜県福祉サービス第三者評価を受審している。		
改善できる点／改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 各種委員会、各ユニット会議、運営委員会等を通じてサービスの質の検証を行っている。また、岐阜県福祉サービス第三者評価の受審結果から把握した課題に対して、職員参画の下、改善策・改善実施計画を立案し、解決を図るべく組織体制を整備している。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・㉑・c
良い点／工夫されている点： 職務権限規程や業務分掌表において管理者の役割と責任について明文化し、職員会議や研修等の機会を捉えて、配布して説明する等して、周知を図っている。また、防災計画の中で災害等の有事の際における役割も明らかにしている。		
改善できる点／改善方法： 管理者不在時の役割については、職員間で共通理解されているものの、明文化はされていないので、今後、明文化に向けた取り組みに期待したい。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 事業運営を取り巻く関係法令に関する各種研修に参加し、復命研修等を通して、職員への周知を図るとともに、職員のコンプライアンス意識を高めるべく取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 質の高いサービスを提供する観点から、日常的な業務場面や各種会議等の機会を捉えて、職員の意見を聞き、運営に反映させるとともに、職員研修を通して研鑽に努める等、積極的にサービスの質の向上に向けた取り組みを行っている。		
改善できる点／改善方法：		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 人事労務、財務状況、運営状況等について法人本部で分析するとともに、メリハリある人員配置や業務のICT化、ロボット技術の導入等の改善を推進する等、効率的な運営管理に向けた取り組みを行っている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 法人の人財部を中心に、大学や養成校への求人、インターンシップ事業への参加、人材紹介業者の活用等、幅広く求人チャネルを拡充する等して人材確保に努めるとともに、各種研修やOJTの充実、資格取得の奨励、働きやすい職場づくり等、人材の定着対策にも取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 人事考課については法人独自の人事考課システムを整備し、総合的な人事管理を行っている。また、求められる職員像を示し、職員が自ら将来の姿を描ける様な仕組みづくりに取り組んでいる。さらに、期首の目標設定、期中のフィードバック面談、期末評価を行う目標管理と連動した独自の総合的な人事管理を行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		

16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 職員の有給消化率や時間外労働については定期的にチェックし、把握するとともに、職員の家庭事情に対応し、休暇が取得しやすいよう配慮している。また、定期的な面談を通して職員の意向や意見を聞き取る等、相談体制の充実に努めるとともに、ワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい就業環境作りに努めており、職員のエンゲージメント向上につながっている。健康面では、生活習慣病健診やストレスチェック等の実施や産業医との連携を通じて、職員の健康管理に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 目標管理制度を導入しており、PDCAシートを活用して、期首の目標設定、期中のフィードバック面談、期末評価という一連のプロセスを通じて、PDCAサイクルを回して、職員個々の育成に向けた取り組みを行っている。		
改善できる点／改善方法：		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 法人内に研修課を設置し、年間研修計画が策定されており、新人職員研修、リフトリーダー研修、権利擁護研修、OJT研修、他施設等見学、法人内研修、外部研修等、様々な研修体制が確立している。		
改善できる点／改善方法：		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 新人職員一人ひとりに担当を付けたプリセプター制度、OJT研修、職員の職位に着目した階層別(中堅職員、リーダー等)研修、テーマ別研修等の様々な研修を実施し、職員の研修機会を充実させている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点：		

実習生は積極的に受け入れていく方針であり、実習生受け入れマニュアルを整備し、実習指導者を配置し、養成校と連携しながら、社会福祉士や介護福祉士等の職種別に受け入れしている。受け入れにあたっては、養成校と打ち合わせを行い、実習オリエンテーション、カンファレンスや振り返りを行う等して指導にあたっている。
改善できる点／改善方法：

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
21 Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉑ ・ b ・ c
良い点／工夫されている点： ホームページで施設概要、サービスの内容、事業報告、財務諸表情報、苦情解決報告、福祉サービス第三者評価結果等、事業運営に係る情報を幅広く積極的に公開する等、運営の透明性の確保に努めている。	
改善できる点／改善方法：	
22 Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㉑ ・ b ・ c
良い点／工夫されている点： 法人で経理規程等を整備し、事務、経理、取引等についてルール化している。公認会計士の指導を受ける等、適正な運営に努めている。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
23 Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉑ ・ b ・ c
良い点／工夫されている点： 夏祭り、花火大会、文化展等、地域行事への参加や施設行事での交流、地域住民との日常的なふれあい、地域との防災協定の締結や避難訓練の連携等を通じて、地域とのつながりを広げている。	
改善できる点／改善方法：	
24 Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a ・ ㉒ ・ c
良い点／工夫されている点： ボランティア担当者を設け、園芸福祉ボランティア等の日常的な余暇活動や、クリスマス等の行事	

等の場面において、積極的なボランティア活動の受け入れを行っている。また、学生の職場体験やインターンシップの受け入れ等も行っている。		
改善できる点／改善方法： ボランティアの受け入れ体制について、受け入れの登録手続き等を明記した具体的なマニュアルの作成が望まれる。		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 関係機関との各種会議への参加等により関係機関・団体との情報交換を図る等、関係機関・団体との連携強化に努めている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 地域行事への参加、夏休み子ども園芸教室の開催や、法人系列施設のひだ障がい者総合支援センター、相談支援事業所、その他関係機関との情報交流等を通して把握に努めている。		
改善できる点／改善方法：		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・㉑・c
良い点／工夫されている点： 地域との防災協定の締結、避難所としての役割、法人として市民講座の開催、草の根運動の一環として各種バザーへの参加等、様々な活動を行っている。		
改善できる点／改善方法： 今後、社会福祉法人の使命として、社会福祉事業にとどまらない地域貢献活動がますます重要になってくる。飛騨圏域の障害福祉の拠点施設の使命として、今後とも、地域ニーズの潜在的なニーズを把握に努め、公益的な活動のさらなる拡充に向けた取り組みに期待したい。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	

28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービスについて共通の理解をもつための取組を行っている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 理念や基本方針に利用者尊重の基本姿勢を明示し、職務行動基準、支援マニュアル、支援計画に利用者尊重の主旨を盛り込んでいる。虐待防止委員会を設置して内部研修を行うとともに、セルフチェックを毎月実施して、振り返りを行う等、不適切なケアの防止に取り組むとともに、虐待防止・権利擁護に関する意識を高めている。		
改善できる点／改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・㉒・c
良い点／工夫されている点： 利用者のプライバシーを尊重する観点から、日常的な生活場面において利用者のプライバシー保護に留意した支援の実践に努めるとともに、各職員会議で話し合っている。また、虐待防止に関する研修を行い、権利擁護について職員間で理解を深めている。居室は完全個室を整備し、プライバシーに配慮した環境を整えている。		
改善できる点／改善方法： 利用者・家族へのプライバシー保護に関する取り組みの周知については、途上の段階にあり、改善の余地がある。今後とも、さらなる周知に向けた取り組みに期待したい。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： ホームページで施設の内容や取り組みを情報発信する等、サービスを選択できるようわかりやすく工夫している。また、パンフレットを作成し、見学や体験利用の要望にも積極的に対応している。		
改善できる点／改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： サービス開始にあたっては、重要事項説明書や資料でサービスの内容や利用方法、費用等をわかりやすく説明し、利用者・家族の同意を得て契約を締結している。利用者の意思表示が困難な場合、障害特性に対応した説明を行っている。また、利用者の判断能力が低下した場合、家族の高齢化の進行等の状況変化により、後見制度も活用されている。		
改善できる点／改善方法：		

32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行は少ないが、その際には、計画相談と連携を図る等、サービスの継続性に配慮しつつ、スムーズな移行に心がけている。また、移行後も利用者・家族の相談に対応している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取り組んでいる。	a・㉒・c
良い点／工夫されている点： 障害特性から本人が意思表示することが困難な場合もあるが、個別懇談の際に本人の意見・要望を伺っている。		
改善できる点／改善方法： 今後、定期的な満足度調査を実施し、調査結果を分析し、改善を行っていく一連の仕組みの導入について、検討されたい。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 苦情解決の体制や仕組みを整備しており、担当者、責任者や第三者委員等の外部の相談窓口についても重要事項説明書に記載し、説明している。また、苦情解決の受付担当者、責任者、外部の第三者委員を掲示し、周知を図るとともに、苦情受付箱を設置している。		
改善できる点／改善方法：		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 利用者とのコミュニケーションに努め、利用者との日常的な会話や利用者の表情、しぐさから意向の把握に努めている。利用者が相談する職員を自由に選ぶことができ、ゆっくりと話すことができるよう、相談スペースの確保に配慮している。		
改善できる点／改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 第三者委員が個別面談を行い、そこで相談を受けている。相談や意見は施設長に提出し、解決する		

仕組みができています。また、ホームページ上で情報開示も行われている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 法人安全課担当と防災担当を設置し、緊急時の対応に必要な各種マニュアル等を整備し、リスクマネジメント体制を構築している。また、ヒヤリハットについては、報告書にて収集・分析し、改善策を作成して事故予防に努めている。また、運営委員会・各ユニット会議等の中でケース検討を行い、職員のリスクマネジメント意識を高めている。		
改善できる点／改善方法：		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 施設長、看護師、管理栄養士等、運営委員会メンバーを構成員とする感染症対策委員会を設置し、感染症予防・発生時対応マニュアル、感染症BCP等を整備して、講習会や感染症研修を実施している。施設に看護師を配置するとともに、診療所を併設し、感染症の予防や発生時の迅速な対応体制を整備している。		
改善できる点／改善方法：		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 防災訓練・避難訓練等を実施し、食料品等を備蓄し、発電機等の災害用備品を備え、災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。また、BCP(事業継続計画)を策定して、災害後の迅速な復興策を検討している。地域との災害時の防災協定を締結し、協力・連携体制を構築している。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 理念・基本方針を踏まえ、各種マニュアル類を整備し、職員会議等での説明や各種研修を通じて、職員への周知に努めている。		

改善できる点／改善方法：		
各種マニュアルが整備されており、職員への周知が図られているが、未整備のマニュアルもあり、系統的な整備については、途上の段階にある。マニュアル類の系統的な整理を行い、未整備のマニュアルの作成に向けた取り組みに期待したい。		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点：		
各種規程、各種マニュアル類の定期的な見直しを実施している。また、各部署での会議の中で検証し、支援方法の定期的な見直しを行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点：		
統一した手順と様式を用いてアセスメントを行い、それに基づいて把握された支援ニーズや課題を明確にし、本人・家族の意向を踏まえ、支援目標を具体的に明示し、各職種の参画のもと、個別支援計画を策定している。		
改善できる点／改善方法：		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点：		
意思決定支援や合理的配慮を踏まえてモニタリングを実施し、定期的に計画の評価・見直しを行う等、常に質の高いサービス提供に努めている。見直しは、利用者・家族の意向を踏まえて、サービス管理責任者や各関係職種が参加して検討している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点：		
記録様式は統一した様式で、標準化されている。業務のICT化を推進しており、福祉業務支援ソフトを導入して、パソコンのネットワークシステムを整備し、職員間で情報を共有化している。		
改善できる点／改善方法：		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点：		

記録管理について保管・保存・廃棄に関する規程を定め、書類は鍵付きの保管庫に厳重に管理するとともに、データはサーバーで適切に管理している。また、サービス規程の中で、個人情報保護や守秘義務の規程を明記し、研修等を通じて個人情報保護の意識を高めている。

改善できる点／改善方法：

評価細目の第三者評価結果 (障害者・児福祉サービス版)

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1- (1) 自己決定の尊重

	第三者評価結果
A① A-1- (1) -① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	㉠ ・b・c
良い点／工夫されている点： 意思確認ができる利用者には、口頭で確認し、意思表示が困難な方には、絵カードや写真、またアイサイン(瞬き)で言葉を感じ取るパソコン等を利用して、意思や希望を把握し、意向や個性を尊重した支援を行っている。様々な方法を試しながら、それぞれの利用者に合わせた方法で意思確認し、支援している。また、趣味活動や嗜好品等については利用者本人はもちろん家族にも相談し、参考になっている。さらに、年4回、開かれる利用者懇談会では、生活に関わるルール作りも含めて利用者同士で話し合いが行われているが、事前に議題やテーマを掲示して、考えや意見をまとめてもらっておく等の工夫をしている。利用者の権利に関する職員の学びについては、毎年、意思決定支援研修を実施することで、理解や意識を深めている。	
改善できる点／改善方法：	

A-1- (2) 権利擁護

	第三者評価結果
A② A-1- (2) -① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	㉠ ・c
良い点／工夫されている点： 毎月、苑長、副苑長、各主副主任、医師等でメンバー構成された虐待防止委員会を開催し、職員から収集したセルフチェックシートを集計し、内容について確認するとともに、改善点の検討を行っている。また、職員に周知する内容については職員会で伝え、注意を促す項目があれば、「強化月間」を設けて職員に啓発している。また、毎月、身体拘束適正化検討委員会を開催し、身体拘束の解除に向けた取り組みを検証している。さらに、年1回、外部の第三者委員の来苑により、直接利用者が第三者委員に相談できる体制が整っている。また、権利擁護、虐待防止に関する研修を企画するとともに、外部研修にも随時参加している。今後、苑として、保護者にも権利擁護への取り組みについての説明を行っていきけるよう検討を進めている。	
改善できる点／改善方法：	

A-2 生活支援

A-2- (1) 支援の基本

	第三者評価結果
A③ A-2- (1) -① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	㉠ ・b・c
良い点／工夫されている点： 入居前の事前面談により、本人の意向やできること、できないことを把握し、情報共有し、できることについては見守りや介助等の支援を行っている。また、自立支援に向けてできる限り環境を整え、生活してできるようにしている。さらに、生活していく中で、「できること」「やりたいこと」を	

汲み取りながら、支援計画に反映させ、支援につなげている。地域移行を希望する利用者に対しては、相談支援事業者と連携して利用者に情報を提供し、ニーズに合った在宅生活への支援を行っている。		
改善できる点／改善方法：		
A④ A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。		㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 本人との意思疎通を図るため、発語が無い方は、文字の指差しによる会話、首の動きにより文字を起こすことが可能な機器等を利用したり、絵や写真、カード等を示し、選んでもらうことにより意思確認等を行っている。また、聞き取りにくい方は、筆談での会話も取り入れている。毎年、外部講師を招いて、コミュニケーション障害の事例を踏まえた研修会を行い、職員のスキルアップにつなげている。		
改善できる点／改善方法：		
A⑤ A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。		㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 3か月に1回実施される利用者懇談会では、利用者からの検討事項や苑からの連絡事項等を話し合う機会となっており、事前にテーマを決めておくことで、発言しやすい工夫をしている。個別の相談に関しては、利用者の希望に応じて、サービス管理責任者が聞き取りを行った上で、多職種で情報共有を行う等して支援している。利用者の意思確認が困難な場合には、保護者や利用者とかかわりがあった方等から、本人の情報を聞き取り、意思決定の材料として、できる限り多方面から利用者の思いを把握し、個々のニーズに応じた生活の支援に努めている。		
改善できる点／改善方法：		
A⑥ A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。		㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 個別支援計画に基づき、利用者の希望に沿ったサークル活動等を提供している。理学療法士の指導の下、輪投げ、ボール遊び、ボッチャ等、身体を使った活動や、講師やボランティアの協力により、陶芸、園芸、書道、パソコン、また、屋外での農作業や散歩等の中から、利用者が選択し、活動してもらっている。外出活動についても、毎年、アンケート調査を実施し、行き先によって、グループに分かれて実施しており、概ね1年かけて行われるイベントとなっている。地域の行事については、棟内に掲示することで情報提供を行い、希望者には利用支援を行っている。		
改善できる点／改善方法：		
A⑦ A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。		㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 利用者支援を行う中で、検討課題が生じた場合には、看護師や理学療法士等、多職種でケース会議を行い、早期解決に取り組んでいる。また、ケース会議で決まった事項や変更等は、申し送りや記録連絡システムで全職員に周知できるようになっている。年1～2回、アンガーマネジメントの研修を全職員が受講している。さらに、今後、知的障害について、経験や知識の有無により支援に違いが出ているとの事で、知識を高めるための勉強会を行い、支援のスキルアップと標準化に向けた取り組みを		

進めている。
改善できる点／改善方法：

A-2-（2） 日常的な生活支援

	第三者評価結果
A⑧ A-2-（2）-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	（a） ・b・c
良い点／工夫されている点： 利用者個々の状況に合わせた支援計画が作成されている。食事については、毎年嗜好調査が行われていて、献立には、利用者の意見が反映されている。また、アレルギー等を把握し、代替え食材やメニューが提供されている。入浴支援については、週2回、計画に基づいて行われているが、入浴当日の利用者の希望や健康状態を優先しており、看護師と情報共有して、清拭や入浴日を変更する等の対応もしている。また、排泄支援についても、個々の排泄状況に応じて、定時または随時にトイレ誘導やおむつ交換の支援を行っている。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-（3） 生活環境

	第三者評価結果
A⑨ A-2-（3）-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	（a） ・b・c
良い点／工夫されている点： 居室は個室で、利用者に合わせフローリング居室の他に、畳、カーペットの居室があり、動きの多い利用者には壁にクッション材を張り、怪我をしないよう配慮している。また、廊下の床材や壁等に木材が多く活用され、温かみを感じ取れる。さらに、木材特有の「ささくれ」等に気を付け、利用者が怪我をしないように、テープを張り、日付を書き込むなどして注意喚起をしている。温度や湿度にも注意を払い、時間を決めて換気をするなどの対策が取られている。また、室内の清掃については、居室を含め、清掃係が担当しており、職員間で汚れの個所を周知し清掃を行っている。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-（4） 機能訓練・生活訓練

	第三者評価結果
A⑩ A-2-（4）-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	（a） ・b・c
良い点／工夫されている点： 2名の理学療法士が配属されて、個別支援計画とは別に機能訓練計画が作成され、週1回、利用者一人につき30分程度の機能訓練が実施されている。また、生活リハビリとして、個別支援計画に基づき、支援員が理学療法士の指導を受けながら、ストレッチや立ち上がり等の日常的な訓練を利用者に実施している。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援

	第三者評価結果
A⑪ A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 年1回、健康診断をしている。また、日頃から看護師や支援員は、着替え時、入浴時に身体チェックを行い、皮膚異常の早期発見に努めている。また、診療所が併設されており、定期診察、体調不良等や異常発見時の受診等の医療連携体制ができています。排泄チェック表により、排泄状況も把握し、利用者それぞれの状況に応じて対処している。職員会等で感染予防や拡大防止のための対応等について勉強会を実施している。	
改善できる点／改善方法：	
A⑫ A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 診療所の併設により、医師と看護師の連携が取りやすく、医師の指示の下、点滴等の医療的な処置ができています。また、看護師は看護計画を作成し、それに基づき医療的ケアを提供している。ケア会議では、他職種と看護計画の情報を共有し、個別支援計画に反映している。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(6) 社会参加、学習支援

	第三者評価結果
A⑬ A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 毎月、外部講師による利用者の趣味の充実やパソコン技術の向上のための学習支援を行っている。パソコン室は、昼間はいつでも使用可能であり、陶芸、映画鑑賞等を行う環境も整備されている。また、利用者の意思を尊重し、他事業所での参加を希望した場合には、相談支援事業と連携し、情報提供する等して、参加する機会を提供している。さらに、2か月に1回、外出支援や移動販売車の受け入れをして、買い物を楽しむ機会を設けている。その他、利用者それぞれのニーズに合わせて、随時送迎や付き添い支援を行っている。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果
A⑭ A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 毎年、モニタリングの時期には、地域生活への移行についての希望を聞き取り、希望者には相談支援事業所と連携し、社会資源の情報提供を行っている。現在は、地域生活を希望している利用者はいないが、福祉課との連携もあり、いつでも地域生活への移行の希望があれば、対応できる体制となっている。	

改善できる点／改善方法：

A-2-（8） 家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果
A⑮ A-2-（8）-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 家族の面会時や電話連絡があった際に、近況報告を行っているが、3か月以上連絡がない場合には、苑から電話連絡して、近況を伝えている。また、年2回のモニタリングの時期には、様子を伝えるとともに、支援に対する家族の意向を聞き取っている。利用者の体調不良や急変時等には、家族に連絡し、また、状況報告に努めている。さらに、家族からの意見、要望がある場合には、上司も含めて懇談の機会を設けている。	
改善できる点／改善方法：	

A-3 発達支援

A-3-（1） 発達支援

	第三者評価結果
A⑯ A-3-（1）-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 成人対象の施設のため評価外項目である。	
改善できる点／改善方法：	

A-4 就労支援

A-4-（1） 就労支援

	第三者評価結果
A⑰ A-4-（1）-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 就労支援（就労移行支援、就労継続支援（A型・B型）等）を実施していないので評価外項目である。	
改善できる点／改善方法：	
A⑱ A-4-（1）-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a・b・c

良い点／工夫されている点： 就労支援（就労移行支援、就労継続支援（A型・B型）等）を実施していないので評価外項目である。	
改善できる点／改善方法：	
A⑱ A-4-（1）-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 就労支援（就労移行支援、就労継続支援（A型・B型）等）を実施していないので評価外項目である。	
改善できる点／改善方法：	

A-5 県独自項目

A-5-（1） 職員の援助技術の向上

	第三者評価結果
A㉔ A-5-（1）-① 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいる。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 委員会組織による内部研修や勉強会について、年間計画が立てられている。外部研修についても、職員にとって意義あるもの、スキルアップにつながるテーマのものを苑長や上司が吟味し、職員への参加を促している。オンライン講座の活用により、受講しやすくなったとのことである。外部研修への出席者は、復命書の作成や伝達講習等を行い、他職員への情報共有を図っている。	
改善できる点／改善方法：	

A-5-（2） I T 技術や知識の修得

	第三者評価結果
A㉕ A-5-（2）-① 利用者の社会生活に必要となる I T 技術（パソコン、インターネット、メールの利用等）や知識の修得に向けた支援をしている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 週2回の外部講師によるパソコン教室には、多数の参加がある。教室は年賀状の作成や手紙の書き方等、個々のニーズに合わせた具体的な内容である。その時間に限らず、昼間はパソコン室が開放され、自由に使うことができる環境となっている。インターネットの利用も可能であり、ネットのリスクの注意喚起や助言も行っている。	
改善できる点／改善方法：	